

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2009-43060(P2009-43060A)

【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-207813(P2007-207813)

【国際特許分類】

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/40 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 3/00 2 0 0

G 0 6 T 3/40

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の画像データを縮小して第2の画像データを生成する縮小手段と、

前記第2の画像データに対して歪曲収差補正を行うことで補正後の第2の画像データを生成する補正手段と、

前記補正後の第2の画像データを表示する表示手段と、

前記表示手段に表示された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域を指定する指定手段と、を有し、

前記補正手段は、前記指定手段にて指定された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対して、歪曲収差補正の逆変換となる処理を施すことで、前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対応する前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を演算し、前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を含む一部の領域に対して歪曲収差補正を行うことで、一部の補正後の第1の画像データを生成し、

前記表示手段が前記一部の補正後の第1の画像データを表示することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記補正手段は、前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を含む一部の領域に対して倍率色収差補正および軸上色収差補正の少なくともいずれかを行ってから、歪曲収差補正を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記補正手段は、前記第2の画像データに対しては倍率色収差補正および軸上色収差補正のいずれも行わないことを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

第1の画像データを縮小して第2の画像データを生成する工程と、

前記第2の画像データに対して歪曲収差補正を行うことで補正後の第2の画像データを生成する工程と、

前記補正後の第2の画像データを表示手段に表示させる工程と、

前記表示手段に表示された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域を指定す

る工程と、

指定された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対して、歪曲収差補正の逆変換となる処理を施すことで、前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対応する前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を演算する工程と、

前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を含む一部の領域に対して歪曲収差補正を行うことで、一部の補正後の第1の画像データを生成する工程と、

前記一部の補正後の第1の画像データを表示手段に表示させることを特徴とする画像処理方法。

【請求項5】

請求項4に記載の画像処理方法を画像処理装置に実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項6】

請求項5に記載のプログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するため、本願発明は、第1の画像データを縮小して第2の画像データを生成する縮小手段と、前記第2の画像データに対して歪曲収差補正を行うことで補正後の第2の画像データを生成する補正手段と、前記補正後の第2の画像データを表示する表示手段と、前記表示手段に表示された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域を指定する指定手段と、を有し、前記補正手段は、前記指定手段にて指定された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対して、歪曲収差補正の逆変換となる処理を施すことで、前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対応する前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を演算し、前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を含む一部の領域に対して歪曲収差補正を行うことで、一部の補正後の第1の画像データを生成し、前記表示手段が前記一部の補正後の第1の画像データを表示することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上記課題を解決するため、本願発明は、第1の画像データを縮小して第2の画像データを生成する工程と、前記第2の画像データに対して歪曲収差補正を行うことで補正後の第2の画像データを生成する工程と、前記補正後の第2の画像データを表示手段に表示させる工程と、前記表示手段に表示された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域を指定する工程と、指定された前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対して、歪曲収差補正の逆変換となる処理を施すことで、前記補正後の第2の画像データにおける一部の領域に対応する前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を演算する工程と、前記第1の画像データの歪曲収差補正の対象とする領域を含む一部の領域に対して歪曲収差補正を行うことで、一部の補正後の第1の画像データを生成する工程と、前記一部の補正後の第1の画像データを表示手段に表示させることを特徴とする画像処理方法を提供するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

3 0 1 はフィット表示部であり、歪曲収差補正スライダ 3 0 3 にて指定された適用量で
レンズ収差補正を施した画像データを、この表示部の大きさにあわせて縮小表示する。